

第662回番組審議会報告

2021年10月5日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 今井美樹委員 鯨岡秀紀委員
太平信恵委員 津村記久子委員 細見良行委員 増山実委員

■毎日放送出席者

虫明社長、宮田専務、高山常務、磯澤取締役、藪内取締役、酒井取締役、横田
総合編成局長、津田コンプライアンス局長、中西番組審議会事務局長

◆報告事項

- (1)テレビの10月改編の概要について、総合編成局長が報告した。
- (2)放送番組種別の公表制度に基づき、2021年度上期（4月～9月）の
番組種別ごとの放送時間を総合編成局長が報告した。あわせて同期間の
CM総量および10月以降の基本番組表についても報告した。

◆審議事項

テレビの「全国ネット番組」（主に2021年度上期の番組）について意見交
換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

一 『報道特集』

- *アフガニスタンからの報告が非常に秀逸ですばらしい内容だった。自民党総
裁候補の特集は最初から、どうせ政治家はわかっていない期待できないとい
う結論ありきの番組作りだと感じた。

一 『NEWS 23』

- *総裁選に立候補した河野大臣が出演した際、ある質問の返答に対し問い返さ
ずに別の質問に移った。ただ単に聞いたというだけで何も残らず、次の切り
返しの質問が大事だと思った。

一 『THE TIME,』

- *地方局との朝ごはんの中継が面白く、福島アナと安住さんの掛け合いもい
い。7時の歌がちょっと違和感があつて、何か罰ゲームっぽい印象を受け
る。

—『ラヴィット!』

*すごくぼーっと見られる誰も傷つけない番組と感じた。オープニングでその日の記念日にちなんで、みんなで語り合うトークがいい。麒麟の川島さんの回しがすごく上手だなと思った

—『がちりマンデー!!』

*いろいろ切り口が違っていつも面白い。タレントが取材する形でなく、取材先の会社の人の説明するのも、取材対象に対して気が散りにくくていい。

—『サンデーモーニング』

*全然変わってないのが気になる。単にゲストに若い人を入れるということだけではなくて、若い視点でいろいろ切っていくような感覚が必要ではないか。

—『ドラゴン桜2』

*受験勉強を妙にテクニカルな問題として扱うことに、やや違和感がある。今ペーパー試験を受けて入ってくる学生は、大体4割しかいない。そうした入試の実情をふまえて、かつての入試とは全然違う状況になっているということを感じさせないのは、テレビを見ている人が私たち以上の年配者だと改めて思った。

—『週刊さんまとマツコ』

*最初のコンセプトとしては、マツコさんとさんまさんが自分たちがやりたいテレビを作ろうということから始まったかと思うが、何回か見ていると、ちょっとだれてきているというか、ふたりともこういうのがやりたくてやっているのかと感じる。

—『櫻井・有吉THE夜会』

*いろいろなゲストが、割とそのまますを出して、友達感覚で出ているので親しみを感じる。家を使う設定が、非常にフレンドリーでうまく作っていると思った。

—『マツコの知らない世界』

*専門家がある程度深いところまで説明してくれるのが見応えがすごくある。マツコさんが説明の受け取り方を視聴者に教えてくれているようなところがあって、ガイド役としてすごく有能な方だと思う。

—『世界ふしぎ発見!』

*秩父の特集は興味深い話を取り上げていて、楽しく拝見した。定番の場所を正面から取り上げるのではなくて、それにまつわる話でつくっており工夫が感じられた。

—『世界遺産』

*高野山の四季を特集していたが、空撮がとてもきれいだった。冬の空撮は特にすばらしく、こうして国内の美しい場所を紹介してもらえることはとてもいいことだと思う。

以 上